

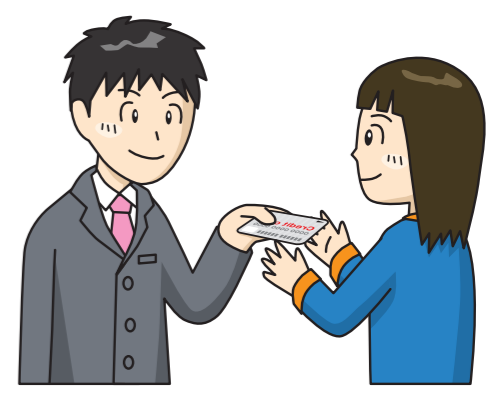
カードについて学ぼう

「キャッシュレス」という言葉を聞いたことがありますか？ 現金ではなく「カード」などで代金を支払う方法です。まるで財布のような「カード」ですが、その便利さを生かすためには、どんなところに気を付けなければならないのでしょうか。



解説

カードを使って買い物をすれば現金を持ち歩く必要もなく、おつりも出ないので便利です。また金額に応じてポイントなどの特典がもらえるカードもあり、利用する人が増え続けています。ただ、買い物をする時、お金を払っているという感覚が無いいため、使いすぎてしまう危険があります。買い物に使用できるカードには主に次の4種類がありますが、それぞれの長所、短所をよく理解して使わなくてははいけません。



使える金額があらかじめ決まっているカード
プリペイドカード 前払い

使う分のお金をまとめて入金(チャージする)カード
電子マネー 前払い

銀行などの口座から、使った分を引き落とすカード
デビットカード 即時払い
クレジットカード 後払い

それぞれのカードの長所、短所は次のページで詳しく紹介します。

どのカードも代金を支払う時に手間がかからず便利ですが、落としたり、なくしたりすると他人に使われてしまうことがあります。特にクレジットカードは使える金額が大きいので、たいへんなことになります。たとえ家族のカードでも、自分のものでないものは使ってはいけません。

考動ポイント!

カードは現金と同じ。使えばお金が無くなることを強く意識しよう。

クレジットカードを使った時は、お店で発行される「利用控え」を必ずとっておく。プリペイドカードは裏に印字される利用額・残高を確認。電子マネーは利用するごとに残高を確認。手軽に使えるからこそ、いつ、どこで、どれだけ使ったかを記録して、使いすぎないように注意しなくてははいけません。